

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【公表番号】特表2011-513897(P2011-513897A)

【公表日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-547717(P2010-547717)

【国際特許分類】

F 21 S 2/00 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21 S 2/00 4 9 3

F 21 S 2/00 4 9 1

F 21 S 2/00 4 9 4

G 02 F 1/13357

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月20日(2012.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

出力面を含む中空の光リサイクリングキャビティを形成する、部分的透過性の前面反射体及び背面反射体であって、前記背面反射体の少なくとも第1部分は、前記前面反射体に対して非平行である、前面反射体及び背面反射体と、

前記中空の光リサイクリングキャビティ内に配置された少なくとも1つの半鏡面要素と、

前記中空の光リサイクリングキャビティ内に光を放射するために配置された1つ以上の光源であって、前記中空の光リサイクリングキャビティ内に限定された角度範囲にわたって光を放射するように構成されている、光源と、を備えるバックライト。

【請求項2】

所望の出力光束分布を提供するように動作可能なバックライトを形成する方法であって

出力面を含む中空の光リサイクリングキャビティであって、部分的透過性の前面反射体及び平面状の背面反射体を更に含む光リサイクリングキャビティを形成する工程と、

前記光リサイクリングキャビティ内に限定された角度範囲にわたって光を放射するための、1つ以上の光源を位置決めする工程と、

前記所望の出力光束分布を選択する工程と、

第1の出力光束分布を測定する工程と、

前記第1の出力光束分布を前記所望の光束分布と比較する工程と、

前記背面反射体を形成する工程と、

第2の出力光束分布を測定する工程と、

前記第2の出力光束分布を前記所望の出力光束分布と比較する工程と、を含む、方法。

【請求項3】

表示パネルと、

前記表示パネルに光を提供するように配置されたバックライトとを備える表示システムであって、

前記バックライトは、

出力面を含む中空の光リサイクリングキャビティを形成する、部分的透過性の前面反射体及び背面反射体であって、前記背面反射体の少なくとも第1部分が、前記前面反射体に対して非平行である、前面反射体及び背面反射体と、

前記中空の光リサイクリングキャビティ内に配置された少なくとも1つの半鏡面要素と、

前記中空の光リサイクリングキャビティ内に光を放射するために配置された1つ以上の光源であって、前記中空の光リサイクリングキャビティ内に、限定された角度範囲にわたって光を放射するように構成されている、光源と、を備える、表示システム。